授業づくり研修講座　実践レポート

相武台東小学校　　須原　麻美

単元名　第４学年　国語科　「お気に入りの場所」

単元目標　お気に入りの場所を思い浮かべて，理由を添えながら文章を書き，思いがはっきり伝わるかどうかを

読み直して，より伝わりやすいように書き直す。

実践のポイント（工夫）

・自分のお気に入りの場所を見つけ，理由を添えながら文章を書く。

・相手意識を持って伝えたいことが伝わるように書く。

・お互いが書いた文章を読み合い，より伝わりやすくなるように書き直す。

実践内容

○お気に入りの場所を決めて，友達に紹介する文章を書く準備をする。

　・お気に入りの場所を探す。

　・その場所がなぜお気に入りなのか，理由を箇条書きでメモをする。

○文章の書き方を提示し，下書きを書く。

　・メモをもとにして，その場所を知らない人にも伝わるように意識しながら文章を書く。

　・書き出しや文の構成，文末を考えて文章を書く。

○書いた文章を読みながら文章を整える。

　・自分で文章を読み直し，誤字脱字や伝わりにくい箇所はないかを探し，赤鉛筆で線を引いたり，吹き出しなどを使って書き込んだりする。

　・隣の人や同じ班の人など複数の人と交換をしてお互いの紹介文を読み合い，伝わりにくいところに線を引いたり，質問をしたりする。

○お気に入りの場所を紹介する文章を書く。

　・整えた下書きをもとに文章を書く。

成果

・わかりやすく伝わりやすい文章を書くことを意識することによって，主語と述語に気をつけながら文章を書くことができるようになった。

・文章を読み直す際に赤鉛筆を使うことにより，文章を推敲するという意識を持ちやすくなった。

・児童同士で文章を読み合い，質問をされることによって，どこが伝わりにくいのか知ることができた。

課題

・誤字脱字は児童同士で直すことができたが，構成や内容まで直すことは難しいと感じた。

・文章を書くという活動では，個人差が大きく感じられるので，苦手意識を持っている児童が少しでも取り掛かりやすくなるような工夫を考えていきたい。